

平成 21 年 2 月 16 日

次回地震予知連絡会（5 月 15 日開催予定）における重点検討課題の検討について

地震予知連絡会

1. 次回地震予知連絡会（5 月 15 日開催予定）における重点検討課題名

課題名：「プレート境界深部すべりに係る諸現象」

2. 目的

フィリピン海プレートの沈み込み境界深部で発生するすべり現象（短期的スロースリップイベント）とそれに伴う現象（深部低周波微動・地震、深部超低周波地震）の発生状況、モニタリングの現状、発生メカニズムに関する研究の現状について理解を深めるとともに、今後のモニタリングの高度化、発生メカニズム研究、プレート沈み込み過程、巨大地震発生との関連等に関する議論を行ない、プレート間すべりのモニタリングとしての可能性を探る。

3. 検討内容

- 1) 現状の検知能力（検出限界）を把握し、これらの現象の検知能力や震源パラメタ推定精度を向上させるために有効な観測・モニタリング手法を検討する。
- 2) 深部すべり現象発生メカニズム解明に向けた有効な観測・モニタリング手法について検討する。
- 3) 深部すべり現象の共通性（普遍性・法則性）と多様性・地域性を理解し、それらの原因をテクトニクス環境などとの比較から検討する。
- 4) プレート間巨大地震との関連と地震予知への可能性について検討する。